

駅シミュレータを用いた避難行動特性に関する基礎研究

石突光隆 山本昌和 青木俊幸

近年のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化によって駅の利用しやすさはある一定の水準まできている。一方で、駅での非常時に避難が必要となった場合の、避難時のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化については未だ十分とはいえない状況である。そこで駅の安全性に関する実験的検討が可能な橋上駅を模擬した実験施設（駅シミュレータ）を開発した。この実験施設を用い、駅における避難時の向光性を利用した避難誘導方法について検討を行った。実験は非常照明に照度差を発生させることで旅客を避難誘導する方法について行い、その結果、光源が明るい方向により多くの人が避難し、また低照度下では経路間に3ルクス以上の差が生じると明るい側へ避難する人が多くなる傾向が得られた。

(鉄道総研報告, 2008年7月号)

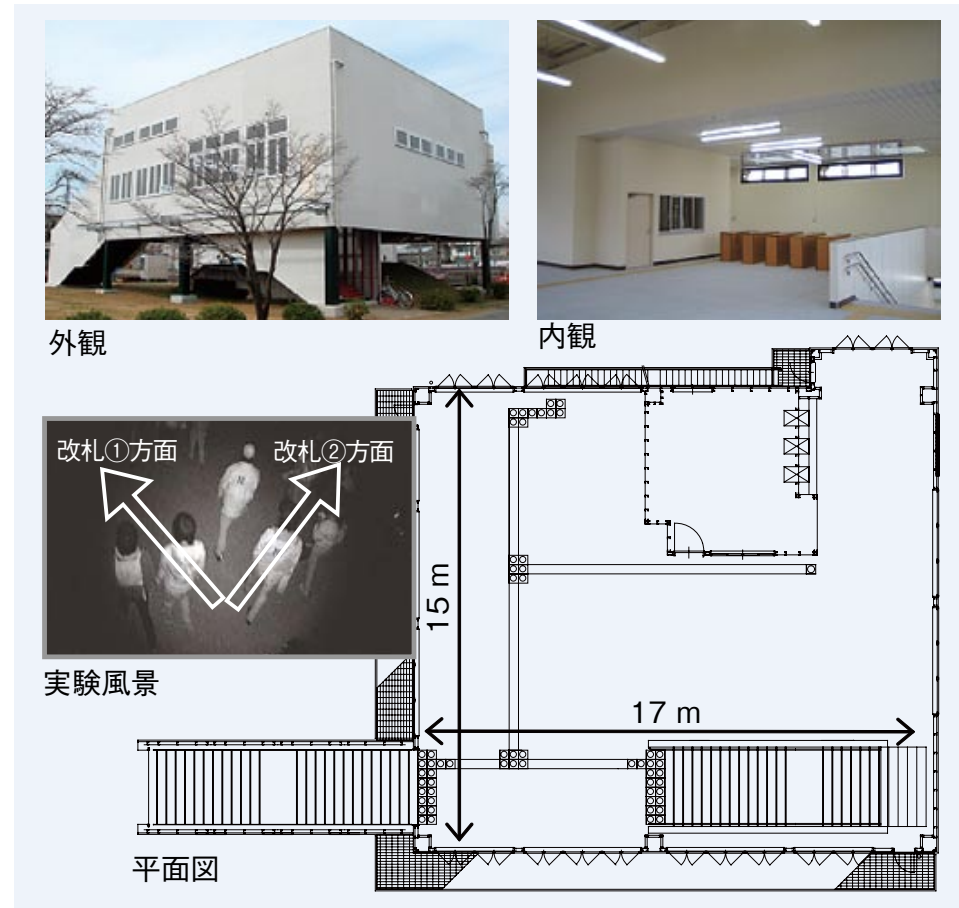


図 駅シミュレータ